

市民の企画提案による協働のまちづくり事業（令和4年度実施提案）

審査における委員の主な意見の概要

提案 事業名	つなぐ・つながる！女性が笑顔で踏み出す第一歩2022 North-Woman Asahikawa #旭川がアツイ
提案 団体名	一般社団法人North-Woman旭川支部
主な 意見 の 概要	<p>★市制、三浦綾子生誕100年など関心が高まるであろう節目と本事業との関連性を生かしている点は広報の工夫が感じられました。</p> <p>★改善点や課題をあぶり出してより良いものを創ろうという姿勢を感じました。</p> <p>★団体と市が協働し、事業を実施することで新たなニーズを発見したり更に深まりのある事業へと発展させている点が印象的でした。</p> <p>★コロナ禍でイベント開催が難しい中、顔の見えるつながりを生む機会はますます大切だと思いました。</p> <p>★1年目は思い・理念・情熱で突き進み、ひとまずやってみるということがとても大切だと思いますが、3年目終了時点では結果が求められます。2年目である本年は、その結果に対してもアプローチしていくべき年であるため、ゴールの形を明確にして、より具体的な活動がなされることを期待します。</p> <p>★単発のイベントで終わらないよう、参加者に対するフォローアップ講座等や、イベント後に継続的、具体的な交流があったかなど、事後調査を行ってみてはいかがでしょうか。また、今後成果目標を設定するなど、費用面も含めて継続していくための中長期的な計画を立てられると良いと思います。</p> <p>★事業2年目にあたり、担当部署からも具体的行動目標（令和3年度実施事業との違い）も示されると良いと思いました。</p>

提案 事業名	あさひかわりハビリ体操指導士普及推進事業
提案 団体名	あさひかわりハビリ体操指導士普及推進事業連絡会
主な 意見 の 概要	<p>★国の政策と現場の困り事をつなぐ支援に期待が高まりました。</p> <p>★一次審査では講習会ノウハウの印象が強かったですが、二次審査のプレゼンで活動意義や現場の困り事、サポートの必要性がより伝わりました。</p> <p>★一見活動していないように思われる650人の指導士の方もそれぞれの場で普及活動に貢献されているとわかりました。</p> <p>★資格取得や講座を通してその先に深みや広がりがあり、社会課題の解決にもつながる事業だということがわかりました。</p> <p>★リハビリ体操指導士が市内に増える事で、高齢者が地域とつながる機会が増えることがわかりました。</p> <p>★コロナ禍で難しいと思いますが、活動できる場が増えると良いと思いました。</p> <p>★現状の見える化（調査）もされるとより支援が得られやすいと思います。</p> <p>★事業名を見ると、どうしても資格取得の部分だけしか見えないので、取得後の効果や社会的課題の解決に寄与する点など、素晴らしい点が少しでも伝わるようなタイトルに変えてみてはいかがでしょうか。</p>

市民の企画提案による協働のまちづくり事業（令和4年度実施提案）

審査における委員の主な意見の概要

提案事業名	るんるんキッズ作成事業
提案団体名	旭川のお母さん応援企画室ルンルン
主な意見の概要	<p>★今後の対象者の展望を含み、事業の更なる拡大視点を感じられました。</p> <p>★コロナ禍で孤立している妊婦が増え、ニーズが高まっている事がわかりました。</p> <p>★プレゼンテーションで、団体と市が協働で進めていることがよくわかりました。団体と市が共に、徹底的に利用者目線で追求している点が印象的でした。</p> <p>★QRコードからアクセス状況や閲覧対象者の特徴、時期などがわかれば、読む方の「どこからアクセスしたか」「自分にとって有用なのはどのコーナーか」と伝わり更に効果的になるのではないかと思います。</p> <p>★前回との違いや行政が発行する冊子との違いが明確でなかった点が残念です。アンケートにて特に良いと思ったページに「頼れるサービス」がダントツでしたが、そこを徹底強化して民間だからこそその情報に特化するなど、行政との役割の相違や団体に求められているニーズを再度確認する必要があると思います。</p>

提案事業名	若年女性の相談・居場所支援・アウトリーチ・連携事業
団体名	NOLIMIT旭川
主な意見の概要	<p>★当事者が、DV、経済水準など他者と比較できない現状にあるからこそアウトリーチが欠かせず事業活動は意義深いと思われました。</p> <p>★女性だけでなく、男性スタッフ活動は共同参画上課題となっていることにも支持されそう期待が持てました。</p> <p>★団体と市が協働で事業を行っていこうという熱意を強く感じました。</p> <p>★行政側の具体的な関わり方の提示や提案団体への丸投げにならないかという不安要素について、具体的には示されなかったものの「この1年団体と協働することによって模索していきたい」という素直な言葉に可能性を感じました。今は関わり方を模索中だが協働することによって行政が新たな役割を発掘していくという新たな協働の形でもあり、とても意義のあることだと感じます。その点の成果を1年後の報告段階でを大いに期待しています。</p> <p>★行政のみならず他団体等との連携による活動が、事業のさらなる展開につながることを期待します。</p> <p>★1年目はアンケート等を行い、しっかりニーズを把握することで、2年目以降の活動に活かしてほしいと思います。</p>

市民の企画提案による協働のまちづくり事業（令和4年度実施提案）

審査における委員の主な意見の概要

提案 事業名	森の妖精, 白樺プロジェクト
提案 団体名	NPO法人癒しの森づくり
主な 意見の 概要	<p>★市外、道外からも注目されるなど、関心を持ってもらえたとのことで、事業の広がりを感じました。</p> <p>★周知活動の成果としてふるさと納税返礼品に採用されたり、物産展への参加につながられたことは素晴らしいと思います。物産展への出展は活動資金源の確保・周知という両面において大きな機会だと思います。</p> <p>★コロナ禍でできることを工夫して実施されていることがわかりました。</p> <p>★今後のビジョンが具体的なので、そこにつながる1年になると良いなと思いました。</p> <p>★協働事業終了後も対応可能な範囲で継続し、また市へ事業化を提案するとのことでした。事業化の提案をする場合は、市民へのメリットがわかるように、次年度の事業には客観評価を是非加えていただければと思います。</p> <p>★事業を通して道外で評価を得られた点は、この事業の目的の一つである「地元市民に誇りと興味をもってもらおう」支援になると思います。この点も旭川市民向けの事業計画に盛り込むと良かったです。またこの道外認知の変化を見せていた点では、市は現在の担当部署だけの関わりで良いかも検討できれば本事業の協働として評価が高まった可能性があります。</p> <p>★協働の形態と妥当性において、行政の関わりが少なく感じました。個々の事業において、行政が担う役割をより明確に示されると良かったと思います。</p> <p>★事業概要にあったPR用冊子、パンフレットについて、白樺の良さを伝える手段の一つとして作成されると、別の面からのアプローチとして有効であるのではないかと思います。作成されないということで残念に思いました。</p>